

令和7年度第5回 感染症発生動向調査協議会

開催日時：令和7年8月20日（水）14:00～

開催場所：岐阜大学医学部本館 1階 入札室
岐阜市柳戸1番1

次 第

月番：加藤委員（長良医療センター）（進行）

高橋委員（岐阜県総合医療センター）

1 前月の感染症発生動向について

事務局説明、月番委員コメント

2 検討すべき課題

- ・百日咳の流行状況について
- ・梅毒について、感染機会が不詳・不明な症例が多い。プライバシー保護は重要事象であるが、県民全体に対する予防医学も大変重要な事象である。確実な全数把握ができているか？
定点医療機関からの情報では、梅毒という病名を告知されても驚かない患者が増加している。梅毒の危険性を知らないだけでなく、梅毒を知らない人がいる。
- ・性器クラミジア感染症は、淋菌感染症と比較して症状が軽微であり、女性の場合はさらに症状が顕在化しにくい。症状があっても医療機関を受診する症例が増加しており、背景として医療機関を受診していない症例が多い可能性が危惧される。
- ・非淋菌・非クラミジア感染症が増加している可能性が危惧される。現状では難治性クラミジア感染症治療の経過中に治療困難症例として把握される症例である。

3 情報提供情報提供（月番委員専門分野から）

- ・毎年9月24日から30日「結核・呼吸器感染症予防週間」

4 その他（感染症対策推進課から）

次回予定

日時：令和7年9月17日（水）14時～

場所：岐阜大学医学部本館 1階 入札室

月番：馬場委員（進行）